

九州歯科大学倫理教育導入説明書

平成27年7月30日に開催しました、九州歯科大学倫理教育導入説明会及び研究費におけるコンプライアンス説明会の一部資料となっています。当日ご欠席の方、倫理教育の導入が必要な理由等を再度確認される方に向けての資料となります。

1 倫理教育導入経緯について

◎昨今研究活動上の不正や研究費の不正使用が頻発したことから、文部科学省や厚生労働省は各研究機関・大学に対し研究者を対象とした研究倫理教育の実施を求めています。

【倫理教育に関する指針等について(抜粋)】

①研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン(平成27年4月1日適用)第2節第1: **文部科学省**

<<研究機関が実施する事項>>

「研究倫理教育責任者」の設置などの必要な体制整備を図り、広く研究活動に関わる者を対象に定期的に研究倫理教育を実施すること。

② 2015年度版科研費ハンドブック(研究者用): **独立行政法人日本学術振興会(文部科学省)**

※研究倫理教育の受講

平成27年度から、科研費により研究を実施する研究代表者及び研究分担者は、研究機関が実施する研究倫理教育を受講することが必要です。

③人を対象とする医学系研究に関する倫理指針(平成27年4月1日適用)第2章第4: **文部科学省及び厚生労働省**

3 教育・研修

研究者等は、研究の実施に先立ち、研究に関する倫理並びに当該研究の実施に必要な知識及び技術に関する教育・研修を受けなければならない。また、研究期間中も適宜継続して、教育・研修を受けなければならない。

今後の対応については...

各省庁等の指針に対応するため、本学に所属する全ての研究に従事する者及び大学院生は倫理教育の対象者とします。

また、科学研究費助成事業を応募する者及び現在科学研究費助成事業の補助を受けている者(研究分担者も含む)、人を対象とする医学系研究に対する倫理審査の申請する者(研究責任者及び研究分担者)は、倫理教育の受講が確認できなければ応募や申請並びに科学研究費の執行を認めませんのでご注意ください。

倫理教育の教材はCITI JAPAN(e-learningシステム)を使用します。

2 CITI JAPAN (e-learningシステム)の説明について

①【CITI Japanとは】

- 1 倫理教育について6大学(信州・東京医科歯科・福島県立医科・北里・上智・沖縄科学技術大学院)が提携し、e-learningを活用したカリキュラムを通して、倫理教育の重要性を広げていく文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」のプロジェクトです。
- 2 平成27年度においては文部科学省が指定する研究倫理教育資料の一つとされています。

②【CITI Japanの使用方法と受講確認について】

- CITI Japanはインターネット環境が整っていればどこでも行えます。
- CITI Japanのe-learningの受講については、個別のユーザーID及びパスワードを発行しますので、個別にログインし、受講してください。ログインパスワードについては、**全学共通**としますので、初回ログイン後各自設定をお願いいたします。
- 使用方法の手順書は別紙「**CITI Japan e-learning 受講手順書**」をご確認ください。
- CITI Japanの使用可能時期については、8月6日を予定しております。可能となりましたら、別途ご連絡をいたします。
- 受講確認については、**医学研究者標準コース(2015)カリキュラム修了書(01_責任ある研究行為:基盤編及び02_人を対象とした研究:基盤編)の経営管理部への提出を以て受講の修了**とします。
- CITI Japanの受講手順については、本学のwebページ「**研究・産学連携**」に後日アップロードしますので、操作方法等のご不明な点がございましたら**ご確認ください**。

③【研究者による修了証の保管について】

- 研究者の方は経営管理部に修了証を提出後も**必ず保管してください**。
- 科学研究費等の応募の際は**研究代表者の医学研究者標準コース (2015) カリキュラム 修了証 (01_責任ある研究行為:基盤編)**を研究計画書提出時に添付してください。**修了証の添付がなければ受付ません**。なお、SPD、PD、DC及びRPDの応募についても同様とします。
- 倫理審査申請書を提出する際は**研究責任者の医学研究者標準コース (2015) カリキュラム 修了証 (02_人を対象とした研究:基盤編)**を申請書に添付して提出してください。**修了証の添付がなければ受付ません**のでご注意ください。
- 一部の競争的研究費(国立研究開発法人科学技術振興機構等など)や助成金の応募についても、倫理教育の履修が必須化しているものもありますので、研究者自身において大切に保管されるようお願いいたします。